

## 小浜線を甲種輸送が通る

1月29日、京都丹後鉄道の新型車両の甲種輸送が行われた。車両は、新潟トランス(新潟県北蒲原郡)で製作され、信越線や北陸線、小浜線などを通り、西舞鶴駅まで輸送された。

甲種輸送とは鉄道車両の輸送のことで、貨物列車に位置づけられている。小浜線を甲種輸送が通ることは極めて珍しく、過去にほぼ例が無い。

小浜線は近年、富山地区の気動車の輸送にも使用されており、北陸から北近畿への鉄道路路として、存在意義が大きい。

今回製造された車両は、京都丹後鉄道の最新車両KTR300形だ。赤と緑の2両が製造され、これまでに製造された2両に加えて全部で4両がそろった。

2022年までに5両製造される予定で、残り1両のみとなった。



▲小浜線を走行するKTR300形の甲種輸送(小浜線 松尾寺駅にて)

## 今年は豪雪?!

今年は、日本海側を中心に豪雪が襲った。福井県では嶺北で北陸自動車道の大規模立ち往生が発生し、鉄道においても、記録的な豪雪により除雪作業が間に合わず、列車の運休が度々起こった。

そのような中、嶺南を走る小浜線では、雪による混乱はあまり見られない。嶺北に比べ積雪量が少なかったのが要因であると考えられるが、雪への対策も関係しているだろう。小浜線では、ポイント前後の融雪マット、踏切散水設備、無人駅の除雪委託、小浜駅での留置箇所変更などにより、豪雪から鉄道の運行を守っている。常に雪への備えが出来ているからこそ、積雪時でも安定した運行を実現できている。

首都圏など、普段雪が降らない地域では、このような対策はされていない。そのため、ひとたび積雪に見舞われれば、交通機関に多大な影響が及ぶ。

しかし、今回の大雪では、このような対策がされている路線でも、運行に影響が及んだ。この度の豪雪の恐ろしさを強く実感させられる。



▲道路上の凍結防止用スプリンクラー

### 部員募集情報

・2021年度常任委員 ・小浜線沿線観光PR企画

くわしくは、公式サイトをご覧ください。



小浜線PRプロジェクト実行委員会



@obamarailprj



@obamasen\_pr



公式サイト

発行者 小浜線PRプロジェクト実行委員会